

和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る地方創生先行型交付金事業について

1. 地方創生先行型交付金制度について

「まち・ひと・しごと創生法」が施行（平成26年）され、急速な少子高齢化の進展という大きな課題に対し、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくため、国と地方が一体となって、①東京一極集中の是正、②若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現、③地域の特性に即した地域課題の解決に向けた取組みのため、すべての都道府県及び市町村に「地方版総合戦略」の策定が求められた。

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）は、地方版総合戦略の策定に先行して行う事業であって、地方版総合戦略に位置付けられる見込みのものを実施するために、国から交付された交付金である。

この交付金を活用した事業の実施にあたり、事業の目標となる指標（KPI）をあらかじめ定め、事業終了後には事業の達成度や成果について検証することが求められており、この検証に際しては、外部有識者等で構成される検証機関により客観的に評価を行うこととされている。

2. 実施した事業と和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関係

地方創生先行型交付金を活用し、本市では平成27年度に5つの事業を実施（別紙の5事業）。各事業には、それぞれの個別目標を掲げた。（別表【ア】～【エ】）。

本市の地方創生の基本となる計画である「和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（平成27年12月策定。資料1-2に一部抜粋）では、9つの基本目標と基本目標ごとに基本的方向を定め、基本目標ごとに数値目標、基本的方向にはKPIを掲げている。

交付金対象事業は、総合戦略の策定に先行して実施した事業であるものの、当該個別事業の目標（別表【ア】～【エ】）の達成だけでなく、当該事業の実施により総合戦略に掲げた基本目標やKPI（別表【オ】、【カ】）の達成をめざす必要がある。

3. 評価の方法

○事業の評価

- ①実施した事業が総合戦略に掲げるKPI【オ】及び基本目標【カ】を達成するために有効であったかどうかについて
- ② ①の評価の理由・意見について

○事業の今後について

- ③事業の今後の方針について（事業拡大、内容見直し、事業継続、事業中止）
- ④ ③の今後の方針の理由について

	事業名	個別事業のKPI(重要業績評価指標)				総合戦略との関連				
		【ア】KPI	【イ】現状値	【ウ】目標値(H27)	【エ】実績値(H27)	【オ】KPI			【カ】基本目標	
1	安全なまちづくり推進事業	以前と比較して防犯施策の満足度が高まったと思う保護者の割合	—	70%	94.2%	防犯カメラの延べ設置台数			市内犯罪件数	
						H26基準値	H27実績値	H31目標値	基準値(H26)	目標値(H31)
						64台	127台	300台	1,312件	1,250件 (H26比▲5%)
2	こども医療費助成拡大事業	子育て家庭への意識調査にかかる子育て施策満足度	13.4%(H25)	18.4%	37.4%	こども医療費助成の拡大			合計特殊出生率	
						H26基準値	H27実績値	H31目標値	基準値(H25)	目標値(H31)
						【通院】 小学3年生まで 【入院】 中学3年生まで	【通院】 小学6年生まで 【入院】 中学3年生まで	【通院】 中学3年生まで 【入院】 中学3年生まで	1.37	1.6
3	来訪促進モニター事業	ツアー利用者	—	200人	201人	モニターツアーの実施延べ回数			年間観光客数	
						H26基準値	H27実績値	H31目標値	基準値(H22)	目標値(H31)
						—	6回	20回	949,029人	1,600,000人
4	農業担い手育成事業	講座参加人数	—	30人	39人	認定農業者数			年間新規就農者数	
						H26基準値	H27実績値	H31目標値	基準値(H26)	目標値(H31)
						77人	77人	85人	5人	6人
5	和泉市総合戦略策定事業	—	—	—	—	/			/	